

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：高齡福祉課

シート No.：28-1

作成日：2026. 9/25

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3 誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める	団塊の世代が 75 歳以上になり、後期高齢者の割合が増えることに伴って、介護保険の認定率増加も予想されます。 介護保険制度やその他の支援制度の適切な利用に向けた周知が必要であるとともに、制度説明以外の相談対応の必要性も増しています。 高齢者及びその家族が抱える生活全般に係る様々な困りごとを早期に解決するため、介護保険や成年後見制度等が適切に利用されるように、引き続き相談体制を整えていく必要があります。	・地域住民の身近な場所に高齢者総合相談窓口を設置し、また休日や夜間でも対応が可能な相談窓口を設置することで相談しやすい環境を整え、日常生活や介護に関する不安を軽減できるようにします。 ・生活支援コーディネーターを配置し、地区の特性や実情に応じた生活支援体制を整備するとともに、各種、支援内容から適切なサービス利用等につなげます。
	施策	1 高齢者福祉		
	施策内容	介護保険制度の適切な運用		
	その他、拠法令及び分野別計画等	常総市高齢者プラン （老人福祉計画・第 9 期介護保険事業計画）		
事務事業名	高齢者総合相談窓口事業			

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R 10 目標値		
①	高齢者総合相談窓口（ランチ） （R 8・9・10）	中学校圏域に高齢者総合相談窓口を設置するほか、休日夜間高齢者相談窓口を設置し、随時相談を受け付けます。	相談件数（件）	130	135	8,400 千円	千円
					140		
②	生活支援体制整備事業 （R 8・9・10）	市全域及び中学校圏域に生活支援コーディネーターを配置し、地域における生活支援体制づくりを推進します。	第 2 層コーディネーター委託数（地区）	6	6	17,900 千円	千円
					6		
③	成年後見制度利用支援事業 （R 8・9・10）	認知症等で判断能力が低下した高齢者に対し、利用支援事業を行うことにより、認知症高齢者等が自ら希望する自立した生活を送ることができるよう支援します。	市長申立て件数（件）	5	5	2,016 千円	千円
					5		
④	市民後見人養成研修 （R 8・9・10）	成年後見制度の利用促進のため、制度の理解普及と後見人の担い手を確保することを目的に養成研修を実施します。	受講者数（人）	20	20	240 千円	千円
					20		
⑤						千円	千円
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①～④	相談相手がいる割合（％）	心配事等を相談できる相手、場所を設け、高齢者の孤立防止を図ることで本人及び家族の不安が解消されます。	91.1％	95％		令和 9 年度
						96％
①・②	ランチ及び生活支援コーディネーターが受けた相談件数（件）	住民に身近な相談窓口が確保され、潜在化していた高齢者や家族の困りごとを早期に把握できるようになります。	824 件	1,000 件		令和 9 年度
						1,000 件

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	